

## ●ヒアリング調査

---

資源量把握調査（アンケート調査）に回答のあった67団体のうち、16団体を選定し、ヒアリングによるより詳しい追加調査を行いました。

### 1 調査対象

---

- ア. 市町村社会福祉協議会 ……………4 団体
- イ. 生活協同組合 ……………1 団体
- ウ. 子ども食堂 ……………7 団体
- エ. NPO法人等 ……………2 団体
- オ. 学習支援団体 ……………1 団体
- カ. 学生ボランティア団体 ……………1 団体

合計 16 団体

### 2 調査内容

---

- ・インタビュー形式

### 3 資源量把握調査(ヒアリング調査)の結果

#### (1) 市町村社会福祉協議会

##### ① 社会福祉協議会 A

<b>質問 1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習支援事業</li> <li>・ 子ども食堂を開設</li> </ul>
<b>質問 2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習支援事業の中で、貧困家庭と思われる子どもの参加があった。 （その子どもの状況：学力の不足、不登校）</li> </ul>
<b>質問 3. 行政機関等との連携状況</b>
<p><b>学習支援事業</b> 市担当課の職員に、定期的で開催している「学習支援員連絡会議」及び「学習支援ボランティア連絡会議」への出席を求め、学習塾の現状や問題点等について、共通理解を図っている。 （課題）教育サイドへ協力を求めているが、教育現場からの補足が少ないように思われる。</p> <p><b>子ども食堂</b> 小中学校へ案内チラシを配付依頼している。</p>
<b>質問 4. 行政への要望事項等</b>
<p><b>学習支援事業</b> 市委託事業として、小学4～6年生を対象として、その兄弟（小1～小3）と学習塾卒業生を対象に希望により中学生を受け入れているが、貧困の連鎖解消のため、高校受験に向けて、中学生を新たに受け入れる体制の整備を図ってほしい。</p>
<b>質問 5. 子ども食堂の活動内容について</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 実施日時</li> <li>② 対象エリア</li> <li>③ 対象者</li> <li>④ 個人負担額</li> <li>⑤ 連携している団体</li> <li>⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか</li> <li>⑦ 食材の確保方法</li> <li>⑧ 送迎の方法</li> <li>⑨ 活動の課題</li> <li>⑩ 今後の展望</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 第4水曜日 17:00～20:00</li> <li>② 市町村内全域</li> <li>③ 子どもとその保護者等 （未就学児・小学生・中学生・高校生）</li> <li>④ こども100円 おとな300円</li> <li>⑤ 生協、JA</li> </ol>

- ⑥ 約25名、各地区の宅配・会食ボランティアの経験者及び個人ボランティア
- ⑦ 生協を通してJAからの米・野菜等の寄付、個人の寄付等
- ⑧ 送迎はしていない。保護者等による送迎。
- ⑨ 子ども達の参加が伸びない（周知の徹底等）。
- ⑩ モデルケースとして事業を開始したが、今後は各地域で子ども食堂を始められるよう支援していきたい。現在の子ども食堂は、地元受け皿が確保された際は事業移行していく。

## ② 社会福祉協議会B

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂は実施していないが、生活保護担当と連携し、現物支給（食料の支援）を行なっている。</li> <li>・市内の小学生を対象とした学習支援事業を実施している。</li> </ul>
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状況の詳細は不明だが、これまで貧困家庭と思われる子どもの参加はあった。</li> </ul>
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材の提供に関し、共同募金、フードバンク等と連携を図っている。</li> </ul>

## ③ 社会福祉協議会C

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂を開設し、地域の子ども・親・高齢者などを対象とした夕食の提供</li> <li>・小学4年生～中学3年生を対象とした学習支援事業</li> </ul>
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認やアンケート実施をしていない為、詳細不明</li> </ul>
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材提供：生協、JA等</li> </ul>
<b>質問4. 行政への要望事項等</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎支援 交通手段がなく、子供のみで通う場合（特に夜道）不安有。特に貧困世帯の場合送迎支援できない場合が多いと感じている。</li> <li>・貧困世帯への支援 認知されていない世帯も多いのではないか。</li> <li>・他団体の情報提供 MP0 団体など、他の団体がどのように運営されているのか知りたい。</li> </ul>
<b>質問5. 子ども食堂の活動内容について</b>
① 実施日時

<ul style="list-style-type: none"> <li>② 対象エリア</li> <li>③ 対象者</li> <li>④ 個人負担額</li> <li>⑤ 連携している団体</li> <li>⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか</li> <li>⑦ 食材の確保方法</li> <li>⑧ 送迎の方法</li> <li>⑨ 活動の課題</li> <li>⑩ 今後の展望</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基本毎月第3木曜日</li> <li>② 特にエリアは設けていない</li> <li>③ 年齢制限等設けていない（参加者 50 名程度）</li> <li>④ 無料</li> <li>⑤ 生協、J A、ボランティア等</li> <li>⑥ 5～10 名程度（生協会員、ボランティアなど）</li> <li>⑦ J Aなどからの提供</li> <li>⑧ 送迎はしていない</li> <li>⑨ 認知度をより広げていきたい。</li> <li>⑩ 参加したいと感じていても参加できない子供たちをできる限り来てもらえるようにしていきたい。</li> </ul>

## ④ 社会福祉協議会D

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援事業を実施</li> <li>※毎週土曜日 10:00～15:00 昼食無償提供含む</li> </ul>
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
<p>これまで、貧困家庭と思われる子どもの参加あり。</p> <p>&lt;その子ども・世帯の状況&gt; 不登校・虐待・いじめ・学力の不足・不衛生・孤食・地域からの孤立</p> <p>&lt;この案件のつなぎ先&gt; 市町村の子育て支援担当課・教育委員会、民生委員・児童委員・小学校・中学校</p>
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
<p>本会は要保護児童対策地域協議会のメンバーになっていることもあり、日常的に要保護・支援児童の状況は把握できているとともに、行政機関との連携も十分に図れている。要保護・支援児童のうち学習支援事業を利用している児童・生徒の状況は毎月必要に応じて報告するなど、日常的に情報の共有化を図っている。</p> <p>学習支援事業の通知は、教育委員会が準要保護児童家庭へ送付する郵便物に同封していただけるなど行政側の配慮も厚い。</p> <p>また、子育て中の課題を抱える世帯へのファミリーソーシャルワークの展開においても、現在受託している厚生労働省モデル事業「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を基幹事業に多機関連携を図りながら取り組みが図られている。</p>
<b>質問4. 行政への要望事項等</b>
<p>本会の学習支援事業は、生活困窮者自立支援制度の委託事業ではなく独自事業として独自財源を使い実施している。生活困窮者自立支援制度では昼食の提供や対象の縛りが強く、柔軟な対応が難しいためである。その点において、柔軟性を持たせた事業の展開をお願いしたい。</p>

また、本会の相談業務の展開においてひきこもりに関する相談を多く受けるが、高校中退をきっかけにひきこもっている場合が多い。その理由として、中退した際にフォローする機関がなく、本人もSOSを発信しないことで長期化してしまうことが考えられる。高校中退時にフォローする機関の明確化、もしくは中学校（市町村の教育委員会）へのフィードバックなど、中退者をフォローする仕組みの構築をお願いしたい。

#### 質問5. 子ども食堂の活動内容について

- ① 実施日時
- ② 対象エリア
- ③ 対象者
- ④ 個人負担額
- ⑤ 連携している団体
- ⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか
- ⑦ 食材の確保方法
- ⑧ 送迎の方法
- ⑨ 活動の課題
- ⑩ 今後の展望

※参考：子ども食堂ではないが、学習支援事業の一環として昼食を提供

- ① 原則毎週土曜日 10：00～15：00  
※中学校の振替等で月曜日に実施することや、長期休暇中の特別講座もあり  
※利用者以外に公開していませんのでご配慮ください。
- ② 市町村内全域
- ③ 原則、中学生・高校生・高校中退者で①生活保護世帯、②生活困窮世帯、③ひとり親家庭 に属する者  
ただし中学生以上の兄弟がいる小学生、特段の配慮が必要な小学生も利用可  
利用児の親に対しての相談支援も実施
- ④ 無料
- ⑤ 学生ボランティア、更生保護女性部、民生委員・児童委員
- ⑥ 学習支援員2名（3,000円/日の実費弁償）  
※学習支援員は元教員と元保育士  
学習支援ボランティア36名登録（1,000円/日の実費弁償）  
※原則、個別の声掛けで集めており、一斉募集はしていない
- ⑦ 米・野菜は地域の方からの寄付、そのほか調味料等は社協のフードバンク（地元スーパーから定期的に受けている）、不足分のみ購入している。
- ⑧ 原則、自力で来てもらうが、利用者の状況に応じて送迎している。
- ⑨ 今の学習支援員は十分な力があり、適切な支援が図られているが、いずれ世代交代もあるためその点が課題である。ボランティアは現在のところ、概ね充足しているが利用者の増加に応じて課題になると思われる。
- ⑩ いつまでも社協主体で展開するのではなく、いずれは現在取り組んでいるボランティアさんたちが独立しNPO化するなどしてほしいと考えているがなかなか難しい状況。  
活動自体は必要なものであると認識しているので、細く長く続けていきたい。

## (2) 生活協同組合

### ① 生活協同組合E

#### 質問1. 子どもや家庭を支援する活動について

・社会貢献活動のひとつとして、子どもの居場所づくりとしての子ども食堂を県内4ヶ所で開催している。

#### 質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況

- ・判断は出来なかったが、参加者名簿は社会福祉協議会と共有しており、何かあれば対応できるようにしている。

### 質問3. 行政機関等との連携状況

- ・子ども食堂設置市町村の社会福祉協議会とそれぞれ連携し開催している。  
また、小学校はチラシの配付などの協力をいただいている。

### 質問4. 行政への要望事項等

教育福祉関係などとも連携出来る事ができればと思う。

### 質問5. 子ども食堂の活動内容について

- ① 実施日時
- ② 対象エリア
- ③ 対象者
- ④ 個人負担額
- ⑤ 連携している団体
- ⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか
- ⑦ 食材の確保方法
- ⑧ 送迎の方法
- ⑨ 活動の課題
- ⑩ 今後の展望

- ① 月1回（平日） 17:00～19:00
- ② 市町村内全域
- ③ 制限なし
- ④ 子ども100円、大人300円
- ⑤ 子ども食堂設置市町村の社会福祉協議会等
- ⑥ 10～16名
- ⑦ JA、寄付 等
- ⑧ 送迎は行なっていない
- ⑨ 継続のための担い手育成
- ⑩ 現在開設している子ども食堂のノウハウを活かし、新規で立ち上げる団体などへ支援していきたい。

### (3) 子ども食堂

#### ① 子ども食堂F

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
・子ども食堂を開設
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
・貧困家庭と思われる子どもの参加はない ※「貧困世帯」と認識されるのが嫌なのでは？と感じている
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
・市へ補助等の関係で働きかけがあった
<b>質問4. 行政への要望事項等</b>
・市の協力が少ないと感じている。 ・アンケート統計を知りたい（同様の活動をされている方の情報や全体統計などが気になる）
<b>質問5. 子ども食堂の活動内容について</b>
① 実施日時 ② 対象エリア ③ 対象者 ④ 個人負担額 ⑤ 連携している団体 ⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか ⑦ 食材の確保方法 ⑧ 送迎の方法 ⑨ 活動の課題 ⑩ 今後の展望
① 月1回程度（第三土曜日 11:00～） ② 対象エリアは定めていない ※来て頂いた方全員を対象とする ③ 地域の方（高齢者が多い） ④ 無料 ⑤ 地域のボランティア（新聞や広報などを見て） ⑥ 11名程度 ⑦ NPO法人からの援助・ボランティア提供を受けている ⑧ 送迎はしていない ⑨ 連携する企業が少ない。行政からの援助が少ない。 ⑩ 子どもが参加してくれる食堂にしていきたい

## ② 子ども食堂G

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
・放課後等デイサービス・相談支援事業・日中一時支援・一時預かり・集いの場・絵画教室・子ども食堂
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
・毎回、貧困世帯と思われる子どもが参加している <その子どもの世帯の状況> 不衛生（入浴少ない・洗濯少ない・ごみの放置）・食育不全（欠食・栄養不足） <この案件のつなぎ先> 市役所
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
・市役所・教育委員会（周知活動に協力いただきました。） ・社会福祉協議会（周知活動やボランティアさんの募集活動に協力いただきました。）
<b>質問4. 行政への要望事項等</b>
・子ども食堂活動への支援
<b>質問5. 子ども食堂の活動内容について</b>
① 実施日時 ② 対象エリア ③ 対象者 ④ 個人負担額 ⑤ 連携している団体 ⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか ⑦ 食材の確保方法 ⑧ 送迎の方法 ⑨ 活動の課題
① 毎月 第2第4水曜日 17時30分～19時 ② 特にエリアは定めていない ③ 子ども・親・高齢者 ④ 大人200円 子ども無料 ⑤ 社会福祉協議会（案内配布のみ） ⑥ 7名程度（ボランティア2名含む） ⑦ 近所の方々から野菜などの提供・足りない食材は購入している。 ⑧ 送迎はしていない ⑨ ・ボランティアさんの確保 ・資金の確保



### ③ 子ども食堂H

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・月1回程度の子ども食堂の開催</li><li>・週1回程度の学習支援（自習室）開催</li></ul>
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・これまで、貧困家庭と思われる子どもの参加があった。</li><li>・不登校、学習不足、学習障害、食事不足、ネグレクトなど事例は様々だが、子どもから直接的な相談はほとんどない。素直に言えない、言いにくいと子供は敏感に感じていることが多く、活動の中で長く様子を見て子供同士での会話で状況を理解することがほとんどで、直接相談を受けることは少ない。</li><li>・現段階ではほかの機関への相談はない。 ※自習室開放などの中で「ママ・パパカフェ」を開催している。悩んでいる親同士情報共有やおしゃべりの場として提供をしているが、その中で同じ悩み（特に障害等）を共有し、少しずつ前に進んでいる様子を目にしている。一対一の支援提供の必要性を感じながらも、直接的ではないが場・環境を提供することによる「横のつながり」の必要性も感じている。</li></ul>
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・市役所、社協、フードバンクなど様々な連携により運営されている。</li><li>・子ども食堂開催場所の提供・学習支援では市の担当者が視察として訪れることも多く連携されている。</li></ul>
<b>質問4. 行政への要望事項等</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・一番目には、運営場所の支援の提供を要望する。子ども食堂の開催場所だけでなく、荷物保管など様々な用途で利用できる場所があるとありがたい。</li></ul>
<b>質問5. 子ども食堂の活動内容について</b>
<ol style="list-style-type: none"><li>① 実施日時</li><li>② 対象エリア</li><li>③ 対象者</li><li>④ 個人負担額</li><li>⑤ 連携している団体</li><li>⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか</li><li>⑦ 食材の確保方法</li><li>⑧ 送迎の方法</li><li>⑨ 活動の課題</li><li>⑩ 今後の展望</li></ol>
<ol style="list-style-type: none"><li>① 月1回程度（基本：月の最終日曜日 12：30～）</li><li>② 市内</li><li>③ ひとり親家庭、生活保護、準要保護などを中心とした子供・親</li><li>④ 無料</li><li>⑤ 市・社協・フードバンク（月1回提供有）・地域ボランティア</li><li>⑥ 中心メンバーはPTA活動を実施していたメンバー、ボランティア</li><li>⑦ フードバンクからの支援、ボランティア者からの支援、助成金での購入（購入品はお肉メインとのこと）</li><li>⑧ 基本なし（一部代表者が個人で送迎している場合あり）</li><li>⑨ 活動場所の確保が課題。開催場所だけでなく、備品や荷物一次保管場所なども必要（現在代表者自宅）</li></ol>

と感じている。また開催場所も、市より支援提供を無料にて受けているが子供が集まることから「騒音」問題で苦情が入ることも多々。地域理解が必要だと感じている。

⑩ 安心できる場所の提供をより進めたいと感じている。

#### ④ 子ども食堂 I

##### 質問 1. 子どもや家庭を支援する活動について

- ・無料塾（3カ所）開設。現在 80 名を超える子供を受入れており、年齢は現段階で小学 1 年生～高校 2 年生。過去に大検受験経験の子受入あり。
- ・学習塾の中で、食事（おにぎりなどの軽食）を提供＝子ども食堂
- ※その他、一般児童向け学童保育・ロボット教室なども開催している

##### 質問 2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況

- ・基本的に無料塾の受入児童は、市の家庭相談員からの紹介（貧困世帯のみ）としている。直接問い合わせも年数件があるが、その場合は所得証明の提出を依頼し面談の後受入有無を判断。「貧困世帯」に絞っている。
- ・貧困家庭の児童は、不登校・学力不足・進学問題・栄養不足・発達障害など様々な問題を併発している。
- ・受入児童自体を基本的に、市の家庭相談員からの紹介としている（貧困世帯のみ）為、受入後も支援内容や報告など等市・児童相談所・社協・学校との連携を行っている。問題が想定された場合には、適切な機関につないでいる。

##### 質問 3. 行政機関等との連携状況

児童受入やその後の学習を含めた支援内容について連携している。また、児童に変化があった場合など随時連携するよう心掛けている。

課題としては、学校側との連携がとりにくい。学習支援を行う上での学力不足状況把握などの連携、また集団生活内での様子などが得られないことにジレンマを感じている。

##### 質問 4. 行政への要望事項等

「子ども食堂」の概念については、貧困世帯の自立支援を目的にした場合、「無料塾＝将来的自立を目指す力」と「子ども食堂＝心のよりどころ・心身ともに安定・集中力向上」は両立されてこそだと感じている。

しかし、行政の考える「子ども食堂」の概念とは違う活動内容となるため、助成金などの援助が得られないのが課題。＝ボランティアに頼っている。

現在「無料塾 2 時間」＋「食事提供（子ども食堂）30 分」をセットで提供しており、今後もその必需性を感じている為、現在の方向性を変える予定はないが、資金的援助が得られない状況は非常に苦しいと感じている。

##### 質問 5. 子ども食堂の活動内容について

- ① 実施日時
- ② 対象エリア
- ③ 対象者
- ④ 個人負担額
- ⑤ 連携している団体
- ⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか
- ⑦ 食材の確保方法
- ⑧ 送迎の方法
- ⑨ 活動の課題

## ⑩ 今後の展望

- ① 無料塾開催時に同時（月・火・木 / 月 12 回程度）
- ② 市内（3カ所で実施）
- ③ 無料塾に参加している児童（小1～高2）
- ④ 無料
- ⑤ フードバンク、ボランティア（学生・地域など）
- ⑥ 9チーム（50名弱程度）完全ボランティアとして参加
- ⑦ メンバーからのボランティア提供、一部フードバンク等
- ⑧ 無料塾として送迎あり
- ⑨ 子ども食堂は、おにぎり程度の軽食を提供している。しかし、無料塾開催時月12回全てで実施していることや「子ども食堂」としての概念から経済的支援を受けることが難しくボランティアに頼るばかり。その場合継続性に欠けるのではと不安が残る。
- ⑩ 運営継続における資金的問題はあるものの、貧困支援を考える場合「無料塾」「食事提供」は両立する姿を変えるつもりはない。両立されてこそ、将来的子供の自立につながると信じている。今後も同様の活動を行っていききたい。  
一部無料塾としてPC授業・ソフトの導入を検討している。環境や資金面で実現されていないが、今後積極的に進めていきたい。

## ⑤ 子ども食堂J

### 質問1. 子どもや家庭を支援する活動について

食事・学習支援、団欒を提供する。また、高齢者など希望者も受け入れる。子供たちが気軽に立ち寄れる場を目指す。

### 質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況

プライバシーには立ち入れないことから、貧困世帯の子どもかの明確な判断がつかない。貧困家庭ではなく、共稼ぎ家庭の可能性も考えられる。

### 質問3. 行政機関等との連携状況

市役所、公民館、自治会、小学校、児童クラブ、農事組合法人、地元のスーパーマーケット

### 質問4. 行政への要望事項等

行政機関等との連携を図りながら、もっと貧困世帯の子どもたちに当会の存在を知ってもらいたいが、学校や自治会ではどこの家庭が貧困世帯かという判断が難しいため、対象世帯へのダイレクトな告知ができない。

自治体との情報共有ができることを望む。

また、保健所に対して食事を提供するスタッフ14人の検便検査を行っているが、1人1回800円かかるため、その費用を補助してもらいたい。

### 質問5. 子ども食堂の活動内容について

- ① 実施日時
- ② 対象エリア
- ③ 対象者
- ④ 個人負担額
- ⑤ 連携している団体

⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか ⑦ 食材の確保方法 ⑧ 送迎の方法 ⑨ 活動の課題 ⑩ 今後の展望
① 第3土曜日 12時から13時 ② 自治会内 ③ 子ども・親・高齢者 ④ 高校生まで100円。大人200円。 ⑤ 社会福祉協議会、農事組合法人、地元のスーパーマーケット ⑥ 14人（スタッフ4人、ボランティア10人） ⑦ 農事組合法人、地元のスーパーマーケット、地元農家 ⑧ 送迎は実施していない ⑨ 児童クラブにはたくさんのお子さんがおり、中には母子家庭のお子さんもいるが、なかなか利用者が増えない。 もっと気軽に利用してもらえる雰囲気作りに務めたい。 ⑩ 実情は貧困世帯であっても、親の見栄や世間体を気にして足を運びにくいのではないかと考えている。 それを改善するために、高齢者との昔遊びやイベントを積極的に実施して、地域のサロンのような雰囲気作りをしていくことで、気軽に利用してもらえるようにしていきたい。

## ⑥ 子ども食堂K

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回（H30年度は計10回開催とのこと）子ども食堂（簡単な調理から食事まで）を開催。一部子育て支援活動を不定期開催。</li> <li>・回覧板などを通じて地域へ情報公開し参加者を募る。</li> <li>・参加年齢層は幅広く、子供からお年寄りまで（核家族の方の参加が比較的多かった。）</li> </ul> ※H31年度に関しては活動停止中（詳細は「4. 子ども食堂の活動内容について」に記載）
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
地域交流がメインの雰囲気であり、「貧困世帯」の参加などは不明。子供のみ参加は少なく、お友達や親子参加など地域での幅広い年齢層が参加していた。
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
運営資金の一部（補助金10万円程度とのこと）支援を受けて活動。 その他地域の民生委員や社協（守谷市）が、活動状況を見学に来るなど交流はあった。 具体的連携はあまりない。
<b>質問4. 子ども食堂の活動内容について</b>
① 実施日時 ② 対象エリア ③ 対象者 ④ 個人負担額 ⑤ 連携している団体 ⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか

<p>⑦ 食材の確保方法</p> <p>⑧ 活動の課題</p>
<p>① 月1回程度（不定期開催）</p> <p>② 市内</p> <p>③ 年齢層が幅広く、地域の方が参加 ※回覧板を通じて開催情報公表していることもあり、地域交流の雰囲気が強い。</p> <p>④ 参加者に300円/食費徴収</p> <p>⑤ 特になし</p> <p>⑥ 地域ボランティアメンバー（人数変動有 メインは十数名程度）子ども支援や食育活動の経験があるメンバーが中心</p> <p>⑦ メンバーの買い出し・持ち寄り</p> <p>⑧ H31 現在活動停止中</p> <p>子ども食堂は月1回の開催であったが、打合せや各購入品の手配など準備にかかる時間がかかなりの労力を要する。中心メンバーには子育て世代も多くボランティアとして活動継続していくことに難しさを感じて現在活動停止中とのこと</p> <p>一部の活動メンバー（年配者）が現在社協の協力を得ながら「勉強会」から新たな活動を行う動きがある。</p> <p>「みんなで作ろう食堂」としての活動再開はない様子だが、地域交流や子ども食堂などの情報を広める活動ができたことに満足している様子。</p>

⑦ 子ども食堂L

<p><b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b></p>
<p>放課後児童健全育成事業</p>
<p><b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b></p>
<p>これまで、貧困家庭と思われる子どもの参加あり          &lt;その子ども・世帯の状況&gt; 学力の不足、孤食          &lt;この案件のつなぎ先&gt; 小学校・中学校</p>
<p><b>質問3. 行政への要望事項等</b></p>
<p>賄材費（おやつ）の補助</p>
<p><b>質問4. 子ども食堂の活動内容について</b></p> <p>① 実施日時</p> <p>② 対象エリア</p> <p>③ 対象者</p> <p>④ 個人負担額</p> <p>⑤ 連携している団体</p> <p>⑥ スタッフ数・どんなメンバーなのか</p> <p>⑦ 食材の確保方法</p> <p>⑧ 送迎の方法</p> <p>⑨ 活動の課題</p> <p>⑩ 今後の展望</p>

- ① 平日 19 時～20 時
- ② 市内
- ③ 小学生とその保護者
- ④ 1 食 100 円
- ⑤ 連携している団体は特にない
- ⑥ 学童スタッフ
- ⑦ 農家との提携及び購入
- ⑧ 送迎はしていない
- ⑨ 周知方法
- ⑩ 地域コミュニティの場としていきたい

#### （4）NPO法人等

##### ① NPO 法人M

<b>質問 1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
「ベビーシッター」「病児保育」「産前産後ケア」「シニアサービス」「ハウスキーピング」幅広く活動中。
<b>質問 2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでに貧困家庭と思われる子どもの参加あり参加あり</li> <li>・ 「進路」や「家庭環境」に関する相談が多く、特にひとり親世帯での場合、経済的・金銭的な課題は大きい。行政で実施している支援（経済支援・就労支援）などを知らず利用していない家庭も多くより情報提供が必要だと感じている。</li> <li>・ また、祖父母の支援等により経済的問題が現段階で発生していない家庭であっても、資産管理ができず（＝将来を考えずお金を使ってしまうなど）将来不安を感じる家庭も多い。ファイナンシャルプランの勉強会が必要ではないかと感じている。 ひとり親世帯では「外国籍」の親も多く、学習不足・進路・金銭的貧困の問題が多く見受けられる。</li> <li>・ 一例として、過去にひとり親世帯の子供が、親から暴力を受けたと相談があった。状況を判断し、「ホットライン」に相談したが、「警察」に相談する様説明を受け、警察へ相談。警察から児童相談所へ。</li> <li>・ また、保護後家庭に戻る子供も多いが親から「外部に言わない様口止めをされる」事例もあり子供たちと連絡が取れなくなってしまうことも多い。</li> </ul>
<b>質問 3. 行政機関等との連携状況</b>
様々な行政機関と連携や情報共有を進めている。勉強会などにも積極的に参加している。
<b>質問 4. 行政への要望事項等</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にひとり親世帯への「就労支援」の必要性を感じている。ハローワークはもちろんのことポリテクセンターの有効利用→情報提供がうまく進んでいない。 また、資産管理（ファイナンシャルプランニング）勉強会等の必要性を感じている。先を見据えてのお金の管理ができていない家庭状況を感じている為。</li> <li>・ 発達障害・学習障害児への支援（将来的には就労支援まで） 福祉課・母子課・青少年課など様々な行政機関がある中で、全て縦割りで連携が全くない。やむを得ない事情もあるのではないかと感じているが、最低でも月 1 回の情報共有連絡会を開催するなど最低限の配慮・必要性を感じている。</li> </ul>

質問5. 子ども食堂の活動内容について

子ども食堂は実施していない

② NPO法人N

質問1. 子どもや家庭を支援する活動について

民間学童保育（送迎あり）とお稽古（習字・英語・そろばん）の運営  
現在50名前後受入中。対象年齢小1～小6まで

質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況

これまでに参加はなかった。

質問3. 行政機関等との連携状況

市の委託事業として民間学童活動を行っていることもあり、随時行政連携あり。

質問4. 行政への要望事項等

特になし

質問5. 子ども食堂の活動内容について

子ども食堂は実施していない。

(5) 学習支援団体

① 学習支援団体O

質問1. 子どもや家庭を支援する活動について

放課後子ども教室  
放課後学級(学童)  
つどいの広場等の未就学児親子の居場所事業  
生活困窮家庭のための学習支援  
病児保育  
赤ちゃんが学校にやってくる など

質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況

これまでに、貧困世帯と思われる子どもの参加があった。  
事業が行政からの受託であるため、行政で把握している。

質問3. 行政機関等との連携状況

県や市町村と連携している
<b>質問4. 行政への要望事項等</b>
<p>要望を聞く場を作って欲しい。          必要だと感じた事業の道すじがわかるとよい          委託事業の予算の確保          （特に事務局への事務作業に予算が割かれなため、ボランティアで行うことが多い）</p>
<b>質問5. 子ども食堂の活動内容について</b>
子ども食堂は実施していない。

## (6) 学生ボランティア団体

## ① 学生ボランティア団体P

<b>質問1. 子どもや家庭を支援する活動について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生を主な対象とした、大学生による無償の学習支援、または進学支援。</li> <li>・子どもの居場所づくり。</li> </ul>
<b>質問2. 貧困家庭（困窮家庭）と思われる子どもの参加状況</b>
<p>これまで、貧困世帯と思われる子どもの参加があった。          &lt;その子どもの状況&gt; 学力不足</p>
<b>質問3. 行政機関等との連携状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会からの後援をいただき、市内の小中学校へのビラの配布による宣伝活動が可能になっている。</li> <li>・本活動のポスターを回覧板に添付する形で、市民センターから広報にご協力いただいている。</li> </ul>
<b>質問4. 行政への要望事項等</b>
特になし
<b>質問5. 子ども食堂の活動内容について</b>
子ども食堂は実施していない。



